

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成26年8月14日(2014.8.14)

【公表番号】特表2013-529474(P2013-529474A)

【公表日】平成25年7月22日(2013.7.22)

【年通号数】公開・登録公報2013-039

【出願番号】特願2013-518513(P2013-518513)

【国際特許分類】

C 12 Q 1/06 (2006.01)

C 12 M 1/34 (2006.01)

【F I】

C 12 Q 1/06

C 12 M 1/34 A

【手続補正書】

【提出日】平成26年6月24日(2014.6.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

試料中の微生物の有無を検出する方法であって、

試料、及び、

基板部材と、カバー層と、複数の自然発生する気泡を含みかつ基板部材とカバー層との間に配置されるヒドロゲルと、を含む培養器具、

を準備する工程であって、

前記培養器具が、最も外側の第1の主表面と、最も外側の第2の主表面と、を含み、

前記ヒドロゲルが増殖領域を画定する、工程と、

前記器具の前記増殖領域に、第1の時点において前記試料を植菌する工程と、

前記器具を所定時間の間培養する工程と、

増殖領域を光源で照らす工程と、

前記増殖領域内の微生物の有無を、第2の時点において検出する工程であって、

微生物の有無を検出することが、増殖の兆候を観察することを含み、

増殖の兆候を観察することが、前記第2の時点において、前記ヒドロゲル内の少なくとも1つの自然発生する気泡の減少又は欠如を検出することを含む、工程と、を含む方法。

【請求項2】

前記第2の時点の後に起る第3の時点において、前記気泡の寸法又は欠如に関して前記増殖領域を観察する工程と、

2つの時点における前記増殖領域の観察を比較する工程と、を更に含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

微生物の有無を検出する工程が、

撮像システムを準備することと、

前記培養器具の前記増殖領域の画像を得ることと、を更に含み、

増殖の兆候を観察することが、前記増殖領域の前記画像を表示する、印刷する、又は分析することを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

微生物を検出するための器具であって、

基板部材と、

カバー層と、

粘着層の上に配置される冷水可溶性のゲル化剤と、

前記基板部材又は前記カバー層の一方と結合される第1の粘着層と、を含み、

前記ゲル化剤が透明な水性液体で水和されると、前記器具が実質的に光透過性になり、

前記器具が透明な水性液体で水和された後の前記器具の光学ヘイズが、ASTM 10

0 3に従って測定した場合に、95%以下である、器具。